

平成28年9月7日

三重北小学校 PTA通信



四日市市立三重北小学校PTA
会長 長谷川 昇平
地区委員長 角谷 智彦
書記 荒井 留美

H28 臨時号No.2

平素はPTA活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今回は臨時号No.2として、先般行われました地区懇談会の内容を簡単ではありますがお伝えします。
当日はお忙しい中、地区懇談会に参加頂いた方々には心より感謝いたします。

懇談内容

■坂部が丘1・3丁目『①災害への備えについて②子どもの生活習慣について』

①災害への備えについて

PTA会員から次のような意見が挙がりました。

- ・今はまだ危機感が無く防災意識が薄いことに反省している。
- ・水、飲料等の準備はしているが期限切れになっている。
- ・緊急時は家族で学校へ集合するように決めている。
- ・生活している中でインスタント食品や飲料の準備がしてあり、且つガスボンベも準備している。

震災経験者から次のような意見もいただきました。

- ・地震発生時は子どもが学校にいる時間だったので安心した。
- ・電話が繋がらないため置き(貼り)手紙などを残した。

まとめとして

子どもたちが学校にいる時間は安心できるが、登下校中に地震が発生した場合の対応を日頃から子ども達に教えておく必要がある。また、各家庭の生活スタイルがあるので、そのスタイルに合わせた避難方法など話し合いの場を設ける事が必要。

②子どもの生活習慣について

PTA会員から次のような意見が挙がりました。

- ・食事は、いろんな人ととることがあるのでマナーには厳しくしている。
- ・人に出してもらった食事は、好き嫌いを言わずに食べるようにさせている。
- ・箸の持ち方は、厳しく、教えている。

まとめとして

今回「食事のマナー」を中心とした意見がたくさんでした。中でも「箸の持ち方」を心配される方が多かったです。正しい持ち方を教えても覚えず、我流で器用に使う事はできているものの、正しい持ち方にするとうまく使えない子どももいるようです。

■坂部が丘2・4・5丁目『①地震対策・災害への備えについて ②子どもの生活習慣・外での遊び場所について』

について』

①地震対策・災害への備えについて

PTA会員から次のような意見が挙がりました。

- ・風呂水は、一晩溜めておく
- ・家具には転倒防止対策を行っている。
- ・首から下げられるライトや笛を用意している。
- ・ラジオやライトを玄関に置いている。

まとめとして

地震が発生した時の対応や対策は考えているが、備えが十分にできていないところもあるとの意見がありました。1・3丁目と同じく子ども達を含めた家族の話し合いを行い、災害への備えをしようという事でした。

②子どもの生活習慣・外での遊び場所について

- ・宿題は子ども自身でやらせるようにしている。
- ・今の子ども達は遊びに関して不器用。
- ・昔とちがって公園でのボール遊びが難しくなっている。
- ・学校のグラウンドが遅くまで使えない。
- ・ゲームやパソコン等をして外で遊ぶ時間が少ない。

まとめとして

遊び場所が少ない事や、器用に遊べない事で室内のパソコン・ゲームなどを中心とした遊び方に変わりつつあるように感じました。

■山之色・大沢台『家庭での子どもたちのルールについて』

PTA会員から次のような意見が挙がりました。

①家庭学習のルール

- ・やることをやってから遊ぶ。
- ・テレビを観た時間に比例して勉強時間を決めている。

②就寝時間のルール

- ・21時や22時。もしくは自主性に任せるなどの意見がありました。

③おこづかいのルール

- ・お手伝いに応じて、10円/回。
- ・必要に応じて自己申告。

④ゲーム時間のルール

- ・自主性に任せている。
- ・習い事が多くゲームの時間が取れていない。

まとめとして

学校から帰った後、寝るまでの時間管理が重要で「やりたい事」「やらなければならない事」の両立ができるよう時間の使い方について指導しながら家庭のルールを作っていきたい。

■坂部台『登下校時の安全と登校時の見守り活動について』

第一部 登下校時の安全(通学路内の危険箇所)について

PTA会員から次のような意見が挙がりました。

- ・高学年の歩くスピードが速く、ついていけずにこけてしまう低学年の子もいる。
- ・登校班の中で低学年が多く高学年が少ない班がある。班の振り分けをもう少し考えた方が良い。
- ・できるだけ一人では帰らないように指導する。
- ・スピード超過車両が多く1丁目交差点が危険な事と、赤坂、用水路に危険を感じている人が多い。

第二部 登校時の見守り活動について

- ・班長さん達に責任感を持たせる為に、もう少し子供会役員が引いてみても良いのではないかな。
- ・付き添い登校ではなく危険箇所に立ったほうがいいと思う。
- ・子ども達を見守りすぎる事ではなく、危険に対応できる力をつけさせる事が大切で、子どものためにどうすべきか考えて今後の方向性を決めていくべき。
- ・付き添いの人(保護者)がいてくれるという安心感を、付き添いの子(上級生のお兄ちゃん、お姉ちゃん)がいてくれるという安心感に変えていくのも必要かなと思った。
- ・自分(保護者)たちが子どものころは、子供会役員が登校時の見守りをする事は無かった。時代は違うが今の状態は過保護すぎると思う。
- ・北勢バイパスの工事と通学路が近接するため見守り活動に力を入れてきた。通学路付近での工事が終了した今、いきなり無くすと子ども達も動揺するので適正頻度で見守っていけば良いと思う。

先生方から次のようなコメントがありました。

- ・危険と思われる場所を地図に落としてもらえると指導しやすくてありがたい。
- ・親はいつまでも子どもの事が心配だが、子どもも子どもなりに成長していて子ども達同士で学んでいく場が必要。見守りは一定の距離をもって過保護になりすぎない程度で良いのではないかな。
- ・子供会役員さんの葛藤を感じた。変えていくのは大変だと思うが親も子どももよく話し合っって子ども達が安全の意識を高く持てるよう指導していけると子供会役員さんの負担を減らせるのではないかな。

まとめとして

見守り活動について、今までの体制を同じように今後も続けていくのは難しいという意見がでていたの
で、体制が変わっていても対応できるように、各家庭で通学路にある危険箇所や登下校時の
安全意識について指導できるように伝えていきたい。

上記以外にもたくさんの意見交換をしていただきました。懇談頂いた内容を参考にしながら、より良いPTA活動
につなげていきたいと考えております。PTA会員の皆様におかれましても、ご家庭での指導等に役立ててい
ただけると幸いです。